

巻きずしの丸かぶり!!

今や節分の定番である「巻き寿司の丸かぶり」実は此花区伝法（当時の申村〔さるむら〕）が発祥と言われています！



このはな
発祥！

平成29年の恵方は
北北西

昔の節分の日、申村（今の伝法）では、「世念講（よねんこ）」といわれる講があり、そこでは村の若者や船頭衆や川人夫が集まって、夜通し雑談や将棋・囲碁・花札、墓場への肝試しなどを楽しんでいました。

このとき「巻き寿司」を食べることが当時の習慣でしたが、人数が多いため、巻き寿司を切り分けていては間に合わず「腹がすいた。切らずにそのままおくれ」の声が高まり、丸かぶりするようになったのが発祥と言われています。（郷土史文献「伝法のかたりべ」参照）

発行：此花区郷土史研究会 此花飲食業協同組合 此花区役所

協力：伝法連合振興町会、伝法地域活動協議会

画：大阪市立咲くやこの花高等学校総合学科造形芸術系列

ポスター制作：大阪市立咲くやこの花高等学校食物文化科